

法友工体連

HOSEI NETWORK NEWS

発行所 法政大学学友会工体連OB会
 発行人 菊池 貢 一
 編集人 高津次朗・細淵祐二
 字 青 木 繁
 事務局 東京都豊島区南長崎1-18-11
 矢野椎名町ビル101 〒171-0052
 (株)クロネ設計企画内
 TEL 03-3565-5885
 FAX 03-3565-5887

『法政大学総長 御挨拶』

1980年に工学部体育連合会のOB組織として設立された工体連OB会は、来年で30周年を迎えることとなりますが、今日に至るまでには役員並びに会員の方々の並々ならぬご苦労があったことと思われ、心より敬意を表する次第であります。

これまで本学は、21世紀社会の新たな人材育成の要請に応えるため、さまざまな改革に着手して参りました。

とりわけ理系学部におきましては、2000年に「情報科学部」を新設、2007年には建築学科、都市環境デザイン学科、システムデザイン学科が「デザイン工学部」へ、また2008年には工学部が「理工学

部」と「生命科学部」へと改組いたしました。

お蔭様をもちまして改革が軌道に乗り、順調な成果を上げておりますのも、ひとえに工体連OB会をはじめとする卒業生の皆様のお力添えの賜物です。

大学においては、教育や研究、社会への貢献はもちろんですが、文武両道のもとスポーツの普及と振興もまた、忘れてはならない重要な使命の一つであります。

わたし自身も学生の頃はワンダーフォーゲルに汗を流し、本学に教員として奉職してから、水泳部の顧問をはじめ教職員テニス大会やゼミのスキー合宿などを通じて、

さまざまなスポーツに親しんで参りました。

建学より本学における歴史や伝統の醸成には、常日頃の地道な練習はもとより、各種大会を通じた学生団体によるスポーツ活動が大きく寄与してきたことは言うまでもありません。

また、大学時代、懸命にスポーツに打ち込んだ経験は、社会に出てからも、自らが一つのことを最後までやり遂げたのだという一生の自信となり、学生の人格形成の面においても大変に有益であります。

政府の教育再生懇談会において、「『スポーツ立国』ニッポン」が検討テーマの一つとして掲げられていた事からも分かるように、これからの時代は大学に対しても従来とは異なるスポーツへの取り組みの



法政大学総長

増田 壽 男

あり方が問われると共に、本学におきましても、その役割はより一層重要なものとなっていくことでしょう。

今後とも工体連OB会の益々のご発展を祈念いたしますとともに、本学並びに現役の学生に対し、暖かいご支援を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

惜別の水泳大会

～水泳部 慣れ親しんだプールとのお別れ～

過去周年記念などでOBが集まる機会はありませんでしたが、開催時期が寒い時期のため、懇親会のみになっていました。今回は9月末に取り壊されるプールを偲んで、OB水泳大会を去年9月6日に開催しました。

徐々に学校、プールに来られたOBは最初に正門で驚き、グラウンドが無くなり、校舎になっていることに驚くなか、プールに着いた時に懐かしさを感じたと思います。参加OBには事前に出場種目をエントリーし

てもらい、OBチームA,Bに分けOB水泳大会が始まりました。

プールサイド全体に広がって昔からほとんど変わっていない準備体操で体をほぐし

ながら始まりました。各年代毎にプールサイドに陣取り、思い出を語りながら試合に参加したり、応援したりして楽しみました。

個人競技に加えてリレー競技では、大会当日に来ているOB同士でチームを組んで参加しました。泳ぎは、昔取った杵柄と感心してしまうOBと、本当に水泳部かと疑うほど溺れかけているOBと、泳ぎの差が非常に大きかった。しかし、速くても遅くても頑張っているOBにはプールサイドから大きな声援で水泳大会を盛り上げました。

水泳大会が進み午後になると、子供連れで参加するOBや、遅れて駆けつけたOBも増え、大会が終了する頃には、懇親会のみ参加予定のOBもプールに集まりました。大会の最後

に急遽全員参加のリレーを行い、5チームに分けて実施することになりました。参加人数が多いため、チーム分けて混乱しましたが、大いに盛り上がりと共にプールへの惜別をしました。

プールでの全体写真を撮影後に場所をマルチユースホールに移して懇親会を開催しました。懇親会には現役、OBを含めて100名以上が参加して水泳大会の表彰とOBと現役が昔話、現状のクラブの状況、今日の水泳大会の話題で花が咲きました。懇親会の最後には全員で輪になって校歌を斉唱して懇親会を閉めました。

懇親会後は、昔を懐かしむように東小金井の夜に消えていき、さらなる親睦を深めました。

(水泳部 佐野嘉之)



法政大学学友会水泳部の活躍を応援します

法政大学工体連水泳部OB会 (工泳会)

工泳会 会長 藤田 善博

小金井市梶野町3-7-2 (学友会水泳部内)

『法政大学全国卒業生の集い』

～盛り上がった松山大会～

昨年10月17(金)～19(日)に「法政大学全国卒業生の集い」愛媛大会が開催されました。

10/17: ゴルフ組は、奥道後ゴルフクラブにて懇親ゴルフ。観光組は今治観光。夜は、一緒に今治城濠沿のシャレタ飲み屋にて宴会。宿泊は柔道部の矢野先輩の宿屋「米長」とビジネスホテルに分宿。

10/18: 松山観光。大会式典、講演会、懇親会。懇親会総勢500人のなかでも、我が工

体連OB会のテーブルは特に盛り上がり、各県の出し物(愛媛の神輿、香川のさぬきばやし、高知のよさこい、徳島の阿波踊り)も満喫。2次会は、松山市「十五万石」にて、さらに飲み、食い、語り合いました。

10/19: しまなみ観光に回る人、ゴルフへ向かう人と分かれました。

今年も、10/16(金)～18(日)の日程で、長崎で開催されます。その節も、誘って盛り上がり、楽しみましょう。

(陸上部 小畑修孝)



増田総長を囲んで



踊る阿呆

① 小金井レポート 工事の進む小金井校舎

小金井校舎の工事もだいぶ進み、グラウンドの上に建った東館は昨年10月に竣工しました。最近までは教室棟を取り壊していましたが、今は写真のように更地になっています。2010年には北館がその上に出来る予定です。

上を見上げても教室棟と研究棟を結ぶ通路もなく、法政ランチを食べたちょっと薄暗い食堂もありません。コンクリートがむき出しになった校舎がきれいな建物に変わり、工学部当初からのものは事務棟と研究棟だけになってしまいました。

ルも、そして体育館もテニスコートもなくなりました。今はそこも更地になっています。部室ですが東館を突き抜けた、ちょうど体育館とプールがあったところと東館の間に新しい部室棟が出来ました。部室に入るには暗証番号やカードキーが必要で、中々カッコいいです。今のうちはまだ汚れていませので是非、現役のところに行きがてら部室を覗いて見て下さい。

今後も小金井の変貌やトピックスをお伝えします。

(文責 高津次朗)



08.12.25時点



09.2.20時点

『'08ホームカミングデー 開催!!』

2008年11月1日(土)13:00から、「'08ホームカミングデー」が小金井キャンパスにおいて、第56回小金井祭(11/1～3)に合わせて開催されました。

工学部同窓会主催であり、メインゲストは、「68年卒、'78年卒、'88年卒、'98年卒の方達ですが、それ以外の卒年の方も含め、工体連OBの方々も多数参加致しました。

新校舎や体育館も一部完成する一方で、壊されていく旧校舎を見つめ、様変わりする小金井キャンパスに当時の思いを馳せる方も多かったので

はないでしょうか?

講演会では八名理工学部長、日高機械工学科教授よりお話があり、その後、小金井祭見学、キャンパス巡り、懇親会と執り行われました

所々、工事中でもあり、小金井祭としては、盛り上に欠けた面も感じられましたが、懇親会では、各学科毎の写真撮影や応援団リーダー部、チアリーディング部の演技で大いに盛りまりました。

今年も開催されますので、奮ってのご参加をお願い致します。

(少林寺拳法部 吉岡 均)



会長挨拶



マンドリンクラブによる演奏

各部 周年行事目白押し!!

～スキー部 創部50周年記念式典 開催～

日時: 7月4日(土) 17:30(16:00～OB総会)
場所: 渋谷東武ホテル 鳳凰の間

半世紀に渡る活動の集大成! OB・OG・現役を問わず、皆さんお集まり下さい。部室移動時に、50年分の歴史の写真や賞品が出てきました。それを式典において、皆さんの目の前に久々の公開!! 自分の代の活躍が、今よみがえるー

～柔道部 45周年記念福井大会～

日時: 5月30日(土) 集合: 16:00 宴会: 18:00
場所: 福井県芦原温泉 グランディア芳泉
福井県あわら市船津43-26 TEL 0776-77-2555

お待ちかねの北陸での開催になります。日頃、参加出来ていない方は是非、この機会でおOB間の絆を深めましょう!!

工体連OB会 21年度スケジュール

- '09. 4.16(木) 第1回理事会、25号会報配布
- '09. 6.27(土) 第2回理事会
- 第14回工体連『お祭り』(現役・OB懇談会)
- '09. 8.20(木) 第3回理事会
- '09. 9.12(土) 工体連各部OB会対抗ゴルフ大会
- '09.10. 8(木) 第4回理事会、26号会報配布
- '09.10.31(土) ホームカミングデー(予定)
- '10. 2.18(木) 第5回理事会

精 力 最 善 活 用

e i 法 政 工 柔 会 y a

会 長 佐藤 光男(経営79) 副 会 長 清水 昌良(土木69) 副 会 長 渋谷雄二郎(機械71)
会 計 石山 道夫(経営84) 事務局長 松本 勇(土木69) 幹 事 長 石井 秀幸(建築84)

法政工柔会HP: <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~hosei-judo/>



<新年会 平成21年1月10日 サンメンバーズ東京新宿にて>

活躍する工体連OB ⑩

私 と 空 手

工体連空手部師範 市野 彰俊 (' 69 空手部)

・剣道部から空手部へ

今から43年前、法政大学入学式の日に道場(屋上)を見学に行き、そこで空手というものを目にしたわけですが、目的は剣道部に入部するつもりでした。理由は高校時代は剣道をしていたのです。しかし、先輩方の稽古を見学している内に、大学ではこれだと感じました。

その場で入部をし、その日から稽古をさせていただいた訳です。そこには同期の宮崎君が既に上級生に混ざって稽古をしており、2年生より上手にやっているのを見、てっきり上級生だと思って丁寧な挨拶をしたことを今でも覚えています。

そして何よりも魅力的だったことは、空手部は本校とも一緒に、体育会に所属している点でした。同じなら本物をとの気持ち強く、夢一杯で私の空手人生が始まりました。新入部員が工学部だけで150人以上いたと記憶しています。

そして連日厳しい稽古の連続でした。何しろ1年生を厳しい練習でふるい分ける訳です。連休の頃には50~60人、夏の合宿に参加したのは30人以下でした。とはいえ通常

稽古以外は本校と合同だったので合宿参加者は全員で100名以上と壮観でした、突き蹴り円陣で一周1人の号令が10本、要するに1,000本、突き1,000蹴りの毎日だったわけで、それが今日につながっていると思います。上下関係も4年天皇・3年貴族・2年平民・1年奴隷と憚らずに公言した時代です。同期の結束は大変強いものとなり、今でも同期会を開いて集まっています。

・コーチ・監督・審判員

そのような4年間があったという間に過ぎ、大学卒業と同時に勤務で青森へ2年間赴任をし、東京に戻ってきて、それ以来コ・チ・監督として空手部と共に歩んできました。

近藤・児玉両先輩に誘われ審判の講習を受けたのが1971年だったと記憶しています。その後、本校の瀬戸口先輩に誘われ、学連に出ささせていただくようになったのが1975年の春からです。以来学生空手道連盟審判員とし空手の修行を続けて参りました。同期の仲間からは、現役時代一番稽古をさぼっていたお前が・・・と度々言われてきましたが、44年の月日が経ってしまいました。

そんな44年の中で、1980



法大体育会空手部拳友会 (OB会) OB練習会

年にOB会より監督をするようにとの指示を受け、2005年まで監督を全う出来ましたことは、ひとえに多くの先輩の暖かいご指導と沢山の後輩の援助があったからと深く感謝しております。

監督時代には工体連・本校を問わずに多くの学生と稽古をし、合宿や試合の遠征と様々な思いでもあります。その一つ一つが私の空手の修行と思うし、その過程において選手のがんばりにより、理工科系大学空手道選手権大会で結果を残せたことも楽しい思い出です。部員総勢4名で理工化系大会の優勝は特に印象深いものです。

学生との空手だけでなく、地元での空手指導も私の空手人生の片方の大きな輪であります。子供や一般の方に指導することで日本体育協会の沢山の講習会に参加する機会に恵まれ、様々な資格も取得しました。

そのために、部員の障害保険の問題や、指導者の賠償責任保険についても考えさせられることが多く、対処も出来てきたと思います。今の時代、ボランティアだからといって全てが通る時代ではないのです。それなりに指導者として安全対策を考えなければいけないことも知りました。

現に部員が学連の大会で尾骨骨折をした時、大会の保険と学校の保険だけでは全く足りない事が判り、その事故以

降スポーツ安全保険の加入を学生に指導してきました。事故があるのは困りますが、万一事故が起こった時の対策は指導者の務めだと思えます。

・8段位取得!!

同時に審判として、関東学生連盟・全日本学生連盟の審判長も務めさせて戴いたことも大変な糧となっております。空手の段位も卒業後取得し、昨年の11月全日本学生空手道連盟昇段審査において8段位を取得する事が出来ました。気力体力の続く限り、空手と歩み続けようと考えています。そして、工体連空手部では師範の立場で学生に正しい空手を伝えてゆきたいと思えます。

私が入部した頃の空手部と今の空手部では、部員数も社会情勢も全く様相が変化し、何よりも部員そのものの考え方、価値観が大きく変わってきております。しかしながら、今の部員は今なりに一生懸命頑張っております。法政大学体育会空手部も工体連空手部も永遠に変わることがないと信じております。

今まで以上に、本校の空手部と力を合わせ、2部体育会空手部も巻き込み、オール法政空手部としてかつての強い空手部を復活すべく、部員一同頑張って稽古に励もうと思えます。OB諸先輩方ももう一度空手と触れ合ってください。お願い申し上げます。共に空手を楽しみましょう!



OB練習会 練習会風景にて



法政大学工体連サッカー一部OB会

会長 大島 光雄 副会長 栗野 均・坂本 誠

幹事長 友野 雅之 監督 鷲尾 正孝

(事務局) 〒184-0002 小金井市梶野町3-7-2 法政大学工体連サッカー一部内 TEL.0423-87-6384 (内) 7224

